

〇〇〇 魚津地区教育センター協業事業 〇〇〇



- ◆ 小学校英語活動研修会 <7月22日：黒部市コラーレ>
講師：京都市教育センター指導主事 直山 木綿子 先生
演習を通して、「英語ノート」を活用した授業の進め方をたくさん教えていただきました。テンポよくエネルギーあふれる演習からは、いろいろな意味でいい刺激をもらったように思います。英語にふれる前に「日本の文化を理解することを大切にしたい」、とアピールされたのが印象的でした。
- ◆ 道徳の授業に関する講演会 <7月29日：魚津市新川学びの森>
講師：文部科学省初等中等局教育課程課教科調査官 永田 繁雄 先生
「心の活力の育成と、これからの道徳教育」と題して講演をいただきました。
子どもが生きる道徳の時間をつくり出すためのポイント
①問題意識を大切に学習
②共感的追究を広げ深める学習
③多様な価値観が生きた学習
指導上の問題点や、より確かな「学習」をつくる教師の構えなども分かりやすく教えていただきました。
- ◆ 生徒指導講演会 <8月19日：入善町サンウエル>
講師：奈良教育大学准教授 粕谷 貴志 先生
「Q-Uをつかった学級集団の理解と対応」と題して講演をいただきました。Q-Uの特徴から、個人、集団、個人と集団の関係を把握できるなどの有効性を理解することができました。また、学級集団を見立てる視点や、その対応の視点を具体的に教えていただきました。



紹介します！

一町で作成された資料や刊行物を利用した取り組み

- ① 各学校には、平成18年度の郷土教育教材開発研究調査員会で作成された「宮崎城跡」のガイドブックのデータを年度当初に届けてあります。五箇庄小学校の寺内真先生が、1学期の研究授業でそのガイドブックを活用して授業をされました。学習を発展させ、夏休みに自由研究で取り組んだ児童もいます。研究作品は、児童生徒作品展に出品もされていきました。<右の写真>
今年度の調査員会では、ガイドブック第2弾「不動堂遺跡」を作成しています。これもまた、ぜひ活用されることを期待しています。



「宮崎城はどんな城だったか」

- ② 9月30日のあさひ野小学校の学校訪問研修では、大菅和世先生の学級で「朝日町の民話」を活用した授業が行われていました。学級の子供たちは、「朝日町の民話」が大好きだそうです。五箇庄地区に伝わる民話「昇天の松」の登場人物になりきって気持ちを想像し、吹き出しを考えながら豊かに読み進める国語の授業が展開されていました。

センターでは、ビデオ・DVD・書籍の購入を検討中です。こんなものをご購入してほしいというご希望がありましたら、ぜひともお聞かせください。今月末までお願いします。

編集後記

この夏もたくさんの研修会がありました。研修会後に記入いただくアンケートには、短い言葉の中にもその先生の豊かな感性が感じ取られることが多くあります。誠実な考え方、謙虚な姿勢、熱い向上心、素直な感動…など。自分一人の受け止めだけでは広がらない世界を学ばせていただき感謝しています。季節は移り、過ぎしやすい時季を迎えています。この秋も、子供たちに豊かな「体験」と「学び合い」が位置づくことを期待します。